

医師・医学生におけるコーチングの有用性の検討 ー キャリア支援とメンタルヘルスへの効果 ー

旭川医科大学 復職・子育て・介護支援センター
研究責任者：菅野恭子

【背景】

- ・ 医学生・若手医師はキャリア不安や過重労働に直面
- ・ 医師のバーンアウトは重要課題
- ・ コーチングは内在的資源を引き出す支援技法

【研究目的】

- ・ バーンアウト軽減効果の検討
- ・ インポスター症候群への影響
- ・ キャリア支援としての有用性
- ・ 性差による効果の探索

【期待される成果】

- ・ バーンアウト予防戦略への応用
- ・ 医療者ウェルビーイング向上
- ・ ジェンダー視点を含む支援モデル構築

【評価項目】

主評価：BAT-J（バーンアウト指数）
副次評価：SIPS（インポスター症候群指数）
開始時・6か月後で比較

【研究デザイン】

対象：医師・医学生
予定参加者数：34名
介入期間：6か月
個人・集団コーチング＋オンライン講座

この研究にご協力頂ける方は下記
にご連絡下さい

k-kanno@asahikawa-med.ac.jp

内線 5910



【倫理的配慮】

- ・ 倫理委員会承認取得
- ・ 匿名化管理
- ・ 自由参加・撤回可能
- ・ 利益相反なし